未来の北上川流域を考える自治体連携会議 開催概要

国土交通省
北上川下流河川事務所

○ 令和4年12月20日（火）宮城県石巻市内において、齋藤石巻市長の声がけにより、北上川流域の7首長（宮城県石巻市、登米市、涌谷町、岩手県一関市、平泉町、盛岡市、岩手町）と流域関係者約60名が参加し開催。

○ 岩手大学元学長の平山健一名誉教授による基調講演「市民活動から見た自治体連携への期待」では、北上川流域での市民団体活動の成果と変遷について、当時の想いや苦労などにも触れて講演をいただいた。

○ パネルディスカッションでは、東北地方整備局の板谷河川部長が進行を務め、パネリストの7自治体の首長から、各地域の水辺の特徴と歴史や治水対策やこれまでの自治体間の連携交流について紹介していただくとともに、コメンテーターの平山名誉教授の意見も交えながら、市民団体と各自治体が連携することの必要性や流域の観光面の連携など自治体連携のあり方について意見交換した。

未来の北上川流域を考える自治体連携会議（石巻商工会議所）

1. あいさつ
2. 祝辞
3. 基調講演　岩手大学名誉教授（北上川流域圏フォーラム代表）平山健一
   演題「市民活動から見た自治体連携への期待」
4. 石巻の水辺紹介
5. パネルディスカッション
   テーマ　「北上川流域における自治体連携のあり方」


▲ 平山名誉教授（岩手大学）


▲ 斎藤市長（石巻市）


▲ 熊谷市長（登米市）


▲ 佐藤市長（一関市）


▲ 佐々木町長（岩手町）


▲ 板屋河川部長



▲ 集合写真



▲ いしのまきの水辺紹介